

教 育, 文 化

昭和34年の学校基本調査の結果によると、義務教育課程では小学校 496 校、児童数33万名、中学校 318 校、生徒数 13万名である。これら児童生徒の教育に 1 万 4 千人の教員が当っているが、教員 1 人当りの児童生徒数は33人となっている。

高等学校は、県下公私立合せ80校、生徒数 7 万名、(33年度の中学校卒業生の約50%) 教員数2900名で、教員 1 人当り生徒数は25名となっている。

大学は、短期大学を含めて11校で、学生 9 千名である。またその他各種学校 175 校、幼稚園 134 校、特殊学校 5 校あり県下総学校数では1 212校を数え幼児、児童、生徒および学生数で58万名に上り県総人口の25.6%に当る。

次に33年度には中学校 5 万名、高等学校 1 万 9 千名の人々が学窓を巣立ち上級学校へ進み、あるいは就職した。就職したものは、中学校で40.4%、高等学校は61.7%である。またこれらを産業別にみると前者では製造工業を主とした第 2 次産業が43%で最も多く、ついでサービス業を主とした第 3 次産業の28%、後者は第 3 次産業49%、第 2 次産業29%の順となり両者のいづれも農林水産業への就職者は年々少くなっている。

次に図書館は公立23、その他 3 の計26館あるが、図書館法の最低基準に達しているのはわずか 2 館で今後の図書館育成に努力を要する課題であり、また公民館は 518 で設置率は88%となっている。

また昭和34年 3 月末のラジオ普及率は(加入者数÷総世帯数) 81.9%とここ数年変化なく、反面テレビは昨年の 2 倍に増加し、県下10世帯に 1 台の割合となっている。